ウィークリー・マーケット

2026年10月第3週号（2026年10月19日発行）

amova アモーヴァ・アセットマネジメント　アセットマネジメント(am)をムーヴ(move)する

Weekly Market

ご参考資料

主要指標の動き

2026年10月16日時点（1週間前＝10月9日、3ヵ月前＝7月16日、6ヵ月前＝4月16日、1年前＝2025年10月16日）なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
世界	世界株価 注1	627.63	▲ 1.6	1.0	6.9	16.2	12.5
	先進国株価 注2	15,897.53	▲ 1.1	1.4	7.5	15.7	11.9
	先進国(除く日本)株価 注3	18,295.32	▲ 1.1	1.2	7.4	15.3	11.4
	新興国株価 注4	899.49	▲ 5.1	▲ 2.1	2.3	19.9	17.3
日本	日経平均株価	65,324.29	▲ 5.4	▲ 2.3	9.8	35.3	29.8
	JPX日経インデックス400	36,765.58	▲ 0.5	0.9	6.4	27.3	19.7
	TOPIX (東証株価指数)	4,066.00	▲ 0.9	0.9	6.6	26.9	19.3
	東証プライム市場指数	2,095.54	▲ 1.0	0.8	6.6	27.1	19.3
	東証スタンダード市場指数	1,684.77	▲ 1.8	3.4	▲ 0.2	14.8	9.5
	東証グロース市場指数	993.18	▲ 3.2	7.1	▲ 2.6	4.6	12.4
米国	NYﾀﾞｳ 工業株30種	52,002.41	0.7	▲ 1.0	7.0	13.2	8.2
	S&P 500種	7,659.44	▲ 1.9	1.7	8.8	15.5	11.9
	ナスダック総合	26,140.03	▲ 4.5	1.0	8.5	15.9	12.5
	ナスダック100	29,187.55	▲ 5.5	0.6	10.8	18.4	15.6
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	11,137.29	▲ 11.4	▲ 6.2	19.4	63.8	57.2
欧州	欧州 ｽﾄｯｸｽ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ600	644.74	2.1	0.2	4.5	12.8	8.9
	英国 FTSE100	10,881.90	3.1	2.9	2.8	15.3	9.6
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	654.87	0.8	▲ 1.7	3.0	10.0	7.0
	ドイツ DAX	25,622.61	2.1	2.8	6.1	5.6	4.6
アジア・オセアニア	中国 CSI300	4,170.61	▲ 3.4	▲ 11.2	▲ 11.9	▲ 9.7	▲ 9.9
	中国 上海A株	3,896.20	▲ 2.6	▲ 4.3	▲ 8.4	▲ 5.1	▲ 6.4
	中国 深圳A株	2,329.53	▲ 6.0	▲ 13.3	▲ 18.6	▲ 9.6	▲ 12.0
	中国 創業板	2,772.38	▲ 8.9	▲ 24.9	▲ 23.5	▲ 8.7	▲ 13.4
	香港 ハンセン	24,186.83	▲ 0.1	▲ 3.3	▲ 8.4	▲ 6.6	▲ 5.6
	台湾 加権	47,111.26	▲ 4.5	3.3	26.9	70.4	62.7
	韓国 KOSPI	5,668.05	▲ 14.5	▲ 16.9	▲ 9.0	51.2	34.5
	シンガポール ST	5,415.53	0.3	▲ 2.2	8.1	24.3	16.6
	マレーシア FBM KLCI	1,607.76	▲ 0.0	▲ 6.6	▲ 4.8	▲ 0.3	▲ 4.3
	タイ SET	1,573.01	▲ 0.3	▲ 3.8	5.6	21.8	24.9
	インドネシア ｼﾞｬｶﾙﾀ総合	5,185.11	▲ 14.9	▲ 15.1	▲ 32.0	▲ 36.2	▲ 40.0
	フィリピン 総合	5,782.70	1.4	▲ 8.6	▲ 4.6	▲ 5.1	▲ 4.5
	ベトナム VN	1,705.91	▲ 1.7	▲ 5.4	▲ 6.3	▲ 3.4	▲ 4.4
	インド SENSEX	74,729.27	3.1	▲ 3.2	▲ 4.2	▲ 10.5	▲ 12.3
	豪州 S&P/ASX200	8,806.73	1.0	▲ 0.4	▲ 1.7	▲ 2.9	1.1

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
中南米他	ブラジル ボベスパ	205,430.33	▲ 1.7	18.2	4.4	44.5	27.5
	メキシコ IPC	68,929.72	4.4	3.9	▲ 0.2	10.2	7.2
	南ｱﾌﾘｶ FTSE/JSEｱﾌﾘｶ全株	110,934.20	2.2	0.5	▲ 6.6	▲ 1.8	▲ 4.2
債券	日本国債 注5	283.72	0.5	▲ 1.2	▲ 3.1	▲ 7.8	▲ 5.2
	先進国(除く日本)国債 注6	1,055.03	1.0	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 1.5	▲ 1.7
	新興国債券 注7	925.27	0.5	▲ 2.2	▲ 1.3	2.5	1.0
利回り*	日本国債2年物	1.916	-0.008	0.472	0.544	0.991	0.738
	日本国債10年物	2.930	-0.088	0.211	0.516	1.265	0.864
	日本国債20年物	3.816	-0.075	0.217	0.548	1.154	0.832
	日本国債30年物	4.015	-0.057	0.172	0.382	0.877	0.614
	米国債2年物	4.709	-0.080	0.567	0.931	1.284	1.234
	米国債10年物	5.075	-0.165	0.521	0.762	1.100	0.906
	米国債20年物	5.469	-0.176	0.386	0.555	0.916	0.675
	米国債30年物	5.423	-0.174	0.339	0.488	0.838	0.578
	ドイツ国債2年物	3.109	-0.018	0.337	0.592	1.200	0.987
	ドイツ国債10年物	3.426	-0.055	0.292	0.394	0.856	0.571
	イタリア国債10年物	4.489	-0.083	0.549	0.684	1.130	0.938
	スペイン国債10年物	4.031	-0.064	0.436	0.549	0.941	0.743
商品など	東証REIT(配当込み)	4,631.73	0.6	▲ 7.3	▲ 11.9	▲ 9.7	▲ 13.9
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数注8(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)	809.67	1.0	▲ 8.2	▲ 2.7	5.9	6.2
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数注8(ﾍｯｼﾞなし・円ﾍﾞｰｽ)	983.34	0.7	▲ 10.8	▲ 3.5	10.9	7.0
	香港REIT 注9	652.24	2.1	▲ 1.8	1.2	▲ 0.1	10.1
	オーストラリアREIT 注9	1,147.41	▲ 1.8	▲ 8.3	▲ 6.1	▲ 18.8	▲ 15.1
	北海ブレント原油先物	109.86	4.9	30.4	10.5	79.9	80.5
	WT原油先物	101.41	10.4	28.4	7.1	76.5	76.6
	ニューヨーク金先物	4,181.10	▲ 0.8	4.7	▲ 13.0	▲ 2.9	▲ 3.7
	CRB指数	419.83	1.2	11.7	12.1	42.9	40.5
	シンガポール鉄鉱石先物	91.23	0.7	▲ 8.9	▲ 14.2	▲ 13.1	▲ 13.4
	S&P MLPﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	12,522.28	0.9	1.8	8.2	33.7	25.6
	S&P BDCﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	376.39	▲ 1.0	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 4.4	▲ 9.8
	ビットコイン	81,632.18	▲ 1.0	27.4	8.5	▲ 24.3	▲ 6.9

*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅

注8 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 ：S&PｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数(配当込み)

注9 香港/ｵｰｽﾄﾗﾘｱREIT指数 ：S&Pの各地域/国REIT指数(配当込み、現地通貨ﾍﾞｰｽ)

	為替(米ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽを除き、対円)	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
北米	米ドル・インデックス	101.84	▲ 0.4	1.1	3.7	3.6	3.6
	米ドル	158.02	▲ 0.2	▲ 2.7	▲ 0.7	5.0	0.8
	カナダ・ドル	111.84	0.7	▲ 3.3	▲ 3.7	4.5	▲ 2.1
欧州	ユーロ	177.58	0.1	▲ 4.4	▲ 5.3	1.0	▲ 3.5
	英ポンド	210.64	0.6	▲ 3.8	▲ 2.2	4.2	▲ 0.3
	スイス・フラン	191.76	0.6	▲ 4.5	▲ 5.6	1.1	▲ 3.0
	スウェーデン・クローナ	15.94	0.6	▲ 5.4	▲ 8.0	▲ 0.1	▲ 6.3
	アイスランド・クローネ	1.304	0.6	0.5	0.1	5.0	4.4
	ノルウェー・クローネ	16.76	1.2	▲ 0.1	▲ 1.4	12.2	7.9
	デンマーク・クローネ	23.76	0.1	▲ 4.4	▲ 5.3	0.9	▲ 3.6
アジア・オセアニア	中国人民元	23.64	▲ 0.0	▲ 1.4	1.3	12.0	5.3
	香港ドル	20.13	▲ 0.2	▲ 2.8	▲ 1.0	4.0	▲ 0.0
	台湾ドル	4.88	▲ 1.5	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 0.7	▲ 2.2
	韓国ウォン(100ｳｫﾝ当たり)	11.84	0.2	7.9	10.1	11.5	9.1
	シンガポール・ドル	123.49	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 1.3	6.2	1.3
	マレーシア・リンギ	38.70	▲ 0.2	▲ 2.8	▲ 3.8	8.2	0.3
	タイ・バーツ	4.73	0.0	▲ 2.2	▲ 4.9	2.1	▲ 4.9
	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾙﾋﾟｱ(100ルピア当たり)	0.877	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 5.6	▲ 3.4	▲ 6.7
	フィリピン・ペソ	2.508	▲ 0.5	▲ 4.6	▲ 5.3	▲ 3.6	▲ 5.6
	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ﾄﾞﾝ(100ドン当たり)	0.610	▲ 0.2	▲ 1.3	1.0	6.9	2.5
	インド・ルピー	1.66	1.7	▲ 1.3	▲ 2.6	▲ 3.2	▲ 4.7
	オーストラリア・ドル	109.76	▲ 0.7	▲ 3.4	▲ 3.7	12.5	5.0
	ニュージーランド・ドル	89.29	0.5	▲ 5.9	▲ 4.8	3.7	▲ 1.1
中南米	ブラジル・レアル	31.20	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 2.1	12.9	9.5
	メキシコ・ペソ	8.54	▲ 0.6	▲ 8.3	▲ 7.4	4.7	▲ 1.8
	ｺﾛﾝﾋﾞｱ・ﾍﾟｿ(100ペソ当たり)	4.98	0.3	▲ 1.0	12.9	27.4	19.9
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	16.05	▲ 0.9	▲ 8.6	▲ 10.6	2.0	▲ 7.8
	ペルー・ヌエボ・ソル	45.97	0.0	▲ 3.8	▲ 0.6	3.5	▲ 1.3
東欧	ポーランド・ズロチ	40.63	0.5	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 1.8	▲ 6.9
	ﾊﾝｶﾞﾘｰ・ﾌｫﾘﾝﾄ(100ﾌｫﾘﾝﾄ当たり)	48.88	0.6	▲ 4.7	▲ 4.8	8.4	2.1
	ルーマニア・レイ	33.38	0.5	▲ 5.9	▲ 9.3	▲ 3.4	▲ 7.6
	トルコ・リラ	3.19	▲ 0.6	▲ 7.2	▲ 10.2	▲ 11.1	▲ 12.3
その他	南アフリカ・ランド	9.59	▲ 0.0	▲ 3.1	▲ 1.2	10.5	1.3
	エジプト・ポンド	2.96	▲ 2.2	▲ 8.0	▲ 3.8	▲ 6.4	▲ 10.1

（騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高）

注1 世界株価指数 ：MSCIｵｰﾙｶﾝﾄﾘｰﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注2 先進国株価指数 ：MSCIﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注3 先進国(除く日本)株価指数 ：MSCI-KOKUSAIｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注4 新興国株価指数 ：MSCIｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾄ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注5 日本国債指数 ：FTSE日本国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(円ﾍﾞｰｽ)

注6 先進国(除く日本)国債指数 ：FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

注7 新興国債券指数 ：JPﾓﾙｶﾞﾝ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾂ・ﾎﾞﾝﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾗｽ(ﾍｯｼﾞなし・米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

※右表の為替ﾚｰﾄは原則としてﾆｭｰﾖｰｸの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのﾃﾞｰﾀもﾆｭｰﾖｰｸ17時時点です。

※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

先週の主な出来事（株式市場での反応を○、△、×の順で評価）

日付	市場の反応	国・地域	指標など（コメント）
10月12日（月）	×	世界	**原油先物が続伸したほか、半導体分野での中国との競争激化が懸念される** ｲｴﾒﾝの親ｲﾗﾝ武装組織ﾌｰｼ派は、ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱによる攻撃への報復だとして、同国の首都ﾘﾔﾄﾞの空港を10～11日にかけて攻撃した。また、ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領は11日、ﾛｼｱとｳｸﾗｲﾅが互いにｴﾈﾙｷﾞｰ関連施設への攻撃を停止することで合意したとSNSに投稿した。しかし、12日には、ｳｸﾗｲﾅのｾﾞﾚﾝｽｷｰ大統領が、ﾛｼｱによるｴﾈﾙｷﾞｰ施設への攻撃が続いていると明らかにした。欧米の原油先物が続伸した。欧州では、英国やﾄﾞｲﾂで国債利回りが低下した一方、ﾌﾗﾝｽなどでは上昇し、仏・独10年国債の利回り格差が拡がった。株式相場は、銀行株を中心に続伸したものの、原油高が株価の上値を抑えた。米国では、中国の半導体ﾒﾓﾘ大手が記憶容量や効率性を高めた製品の開発を進めていると伝わり、競争激化への懸念から半導体関連株が売られたほか、原油高が嫌気され、ﾅｽﾀﾞｯｸ総合、S&P500の両指数は反落したが、7-9月期の決算発表ｼｰｽﾞﾝへの期待などを背景にﾆｭｰﾖｰｸ・ﾀﾞｳ工業株30種は続伸した。なお、債券市場は休場だった。
13日（火）	×	ｱｼﾞｱ	**半導体関連株が売られる** 中東情勢の緊迫化や前日の米国で半導体関連株が売られた影響から、連休明けとなった日本でもAI(人工知能)・半導体関連株が売られ、日経平均株価は続落したが、銀行株や商社株などが買われ、TOPIXは続伸した。国債利回りは、日本時間に米長期金利が低下したことなどから、長期債を中心に低下した。円相場は1ﾄﾞﾙ＝158円台で推移した。なお、台湾や韓国の株式相場も半導体株安などから下落したが、中国本土・香港株式は引けでは上昇した。
	△	米国	**欧州国債の売り一服やﾆｭｰﾖｰｸ連銀総裁の発言を受け、国債利回りが低下** 9月の中古住宅販売件数は前月比+1.5%の年率399万戸と、市場予想に反して4ヵ月ぶりに増加した。また、ﾆｭｰﾖｰｸ連銀のｳｨﾘｱﾑｽﾞ総裁は、年内にあと1回利上げが必要との自身の見方に変わりないとしたほか、2027年については追加利上げの必要性を感じていないと述べた。欧州では、原油先物が反落したことなどを背景に債券が買われ、国債利回りは低下した。米国でも、欧州国債の売りが一服したことや、ﾆｭｰﾖｰｸ連銀総裁の発言が好感され、国債利回りは低下した。欧州株式市場では、半導体関連株などが売られ、相場が反落した。米国では、半導体関連株が続落したほか、ﾍﾙｽｹｱ株なども売られ、主要3株価指数が揃って下落した。外国為替市場では、ﾄﾞﾙが対主要通貨で売られた。
14日（水）	△	ｱｼﾞｱ	**中国、輸出入とも市場予想を上回る伸び** 中国では、9月の消費者物価指数が前年同月比+0.9%と、前月から伸びが高まったが、市場予想は下回った。9月の貿易統計(ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)では、輸出が前年同月比+36.3%、輸入も+31.0%と、ともに前月から伸びが高まり、予想も上回った。中国本土・香港株式は、米消費者物価指数の発表を控えての利益確定売りなどから反落した。また、ｵﾗﾝﾀﾞの半導体製造装置大手が7-9月期決算を発表し、2026年通期の売上高見通しの下限を引き上げたほか、現行計画では、2027、28年に需要を完全に満たすことができないとの見解を示した。日本では、同決算発表で目先の材料がいったん出尽くしたとして、半導体関連株の一角が売られ、株式相場が下落した。また、台湾株式は反発したが、韓国株式は続落した。
	×	米国	**消費者物価指数が市場予想を上回り、利上げ観測が高まる** 9月の消費者物価指数は市場予想を上回り、全体で前年同月比+3.7%と、4ヵ月ぶりの高い伸びとなったほか、ｺｱでも+2.6%に伸びが高まった。ﾕｰﾛ圏では、米利上げ観測が高まり、国債利回りが上昇した国が目立ったが、ﾍﾙｽｹｱなど、業績が景気に左右されにくいﾃﾞｨﾌｪﾝｼﾞ銘柄が買われ、総じて株高となった。英国では、中央銀行高官が市場の利上げ観測は行き過ぎとの見解を示したことなどから、国債利回りが低下したほか、為替がﾎﾟﾝﾄﾞ安に振れ、輸出関連株を中心に株高となった。米国では、利上げへの警戒感が強まったほか、AIｸﾗｳﾄﾞｻｰﾋﾞｽ新興企業の社債の価格急落を受け、AI関連企業の資金調達やAI投資を巡る不透明感も強まった。AI・半導体関連株などを中心に株式相場が続落したが、ﾃﾞｨﾌｪﾝｼﾞ銘柄などは買われた。国債は、売りが先行したものの、その後、株安に伴なって買われ、引けでは長期債を中心に（右上に続く）
			（左下より続く）利回りが低下した。外国為替市場ではﾄﾞﾙが買われ、一時、対ﾕｰﾛで2025年5月以来の高値をつけたほか、ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽは同年4月以来の高値をつけた。原油先物は、ﾌｰｼ派によるｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱへの攻撃が激化したことなどから上昇した。一方、金先物は、米利上げ観測などを背景に売られた。
15日（木）	×	ｱｼﾞｱ	**前日の米国での流れを受け、半導体関連株が売られる** 前日の米国での利上げ観測の高まりや半導体株安などを受け、日本や台湾、韓国などでAI・半導体関連株を中心に株式相場が大きく下落したほか、中国本土・香港株式も続落した。なお、台湾の半導体受託製造大手が株式市場の引け後に発表した7-9月期決算では、純利益が市場予想を上回ったほか、需要は極めて旺盛とされた一方、経済を巡る不確実性を理由に、2027年の見通しについては慎重な姿勢が示された。また、投資家のﾘｽｸ回避姿勢の強まりを背景に、日本の国債利回りが低下したほか、前日の米長期金利低下の影響などもあり、円が買われ、円相場は157円台に上昇した。
	○	米国	**ﾃﾞｨﾌｪﾝｼﾞ銘柄が買われる** ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ連銀のﾃﾞｲﾘｰ総裁が前日、追加利上げが必要となる可能性は高いものの、その時期については検討中で、緊急性はないとの見解を示した。15日に発表された9月の小売売上高は、全体で前月比+0.8%と、市場予想を上回ったが、ｺｱでは+0.1%と、予想を下回った。9月の卸売物価指数は市場予想を上回り、全体で前年同月比+6.3%、ｺｱでは+5.0%と、それぞれ、2022年12月、2023年1月以来の高い伸びとなった。AI投資を巡る不透明感などを背景に欧米の国債が買われ、利回りは低下した。また、欧州株式市場では、ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株が売られた一方、ﾃﾞｨﾌｪﾝｼﾞ銘柄は買われ、相場はﾏﾁﾏﾁとなった。米国では、AI・半導体関連株の一角が引き続き売られたものの、ﾍﾙｽｹｱ株や消費関連株などは買われ、株式相場が上昇した。外国為替市場ではﾄﾞﾙが売られた。原油先物は、週間統計で米原油在庫が市場予想以上に減少したことなどから続伸した。金先物は米長期金利の低下を背景に反発した。
16日（金）	△	ｱｼﾞｱ	**米FRBのｳｫｰｼｭ議長、金融政策の方向性について言及せず** 米FRB(連邦準備制度理事会)のｳｫｰｼｭ議長はﾊﾞﾝｺｸでの対談で、今後の金融政策について、予断を持っていないとして、方向性を示さなかった。前日の米株高を受け、日本や台湾、韓国のほか、中国本土・香港などで株式相場が反発した。日本の国債利回りは、株安の一服などを受けて上昇した。円相場は、原油価格の高止まりなどを背景に158円前後に下落した。
	×	米国	**AI関連株の売りが続く** 9月の輸入物価が前年同月比+8.1%と、2022年7月以来の高い伸びとなった。欧米の原油先物は、中東での攻撃の応酬を背景に続伸し、ﾆｭｰﾖｰｸでは9月中旬以来の高値で引けた。欧州では、株式相場が続伸し、国債利回りはやや上昇した。米国では、ｳｫｰｼｭFRB議長がﾊﾞﾝｺｸで金融政策の方向性を示唆しなかったことを受け、10月の利上げ観測は後退したものの、ｲﾝﾌﾚ懸念などを背景に国債利回りが上昇した。また、AIｸﾗｳﾄﾞｻｰﾋﾞｽ新興企業の株価が急落するなど、AI関連のﾊｲﾃｸ株を中心に株式相場が反落したほか、ﾄﾞﾙが対主要通貨で売られた。

今週の主な注目点（高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考）

日付	注目度	国・地域	指標など（コメント）
19日（月）	高	中国	**7-9月期のGDPおよび9月の主要指標** 予想および前回実績は以下の通り。 GDP：前年同期比+4.4%(前回実績：+4.3%) 鉱工業生産：前年同月比+5.5%(前回実績：+5.2%) 小売売上高：前年同月比+0.5%(前回実績：+0.4%) 都市部固定資産投資(年初来累計)：前年同期比▲7.3%(前回実績：▲7.2%) 不動産投資(年初来累計)：前年同期比▲20.0%(前回実績：▲19.9%)

このほか、米国では、9月の住宅着工件数が20日に発表されるほか、企業の7-9月期決算発表が本格化する。日本では、9月の消費者物価指数が23日に公表されるほか、企業の決算発表が始まる。また、ﾕｰﾛ圏の10月のPMI(購買担当者指数)速報が23日に発表される。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。